

《担当者名》 齊藤 恵一 (ksaito@hoku-iryo-u.ac.jp)
 上河邊 力 (kamikobe-iryo@hoku-iryo-u.ac.jp)
 田村 洋子 (本学キャリアアドバイザー)
 株式会社マイナビ 株式会社リクルート
 特別講師 (卒業生)
 学生支援課

【概要】

大学におけるキャリア教育の目的は「学生の職業観や勤労観を涵養し、個々人の個性や適性に合った職業を学生自ら選択できる能力の育成や学修意欲を高める（就職問題懇談会 平成28年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）より）」ことにある。その端緒として、本授業では、様々な現場で働いている方々から職場・業務の概要や仕事の実際などについてお話を伺う。来ていただく方のほとんどは本学部の卒業生であり、その講話は受講生自身の将来を考える上で貴重なヒントを与えてくれるであろう。

また、本授業では、R-CAPを実施する。これは、人間と職業との間の多様な関係について意識を向けるきっかけとなるであろう。

【学修目標】

- ・卒業後の進路を意識し、そのための科目履修プランの立案ができる。
- ・多様な進路があることを理解する。
- ・自分の個性や適性について意識を持つ。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-----------------|--|---------------|
| 1 | ガイダンス / 進路決定の流れ | 臨床心理学科卒業後の多様な進路について / 在学中からの進路決定に関わる準備やスケジュールについて | 齊藤恵一 |
| 2 | 人生とキャリア | キャリアとは何かに対する理解を深め、これまでの自分の人生を振り返りつつ未来の自分の人生におけるキャリアをイメージする | 上河邊力 |
| 3 | 自己分析と適職1 | R-CAPの実施。 | 齊藤恵一 |
| 4 | 社会と自分のキャリア | 現代と未来の社会に対する理解を深めることで、働くことの意味や自分の役割についてイメージする | 上河邊力 |
| 5 | 広く開かれた進路1 | 卒業生の講話 | 特別講師 齊藤恵一 |
| 6 | 広く開かれた進路2 | 卒業生の講話 | 特別講師 齊藤恵一 |
| 7 | 広く開かれた進路3 | 卒業生の講話 | 特別講師 齊藤恵一 |
| 8 | 広く開かれた進路4 | 卒業生の講話 | 特別講師 齊藤恵一 |
| 9 | 進路について考える | 自分のキャリア形成について意識できるようにする。 | マイナビ 学生支援課 |
| 10 | 広く開かれた進路5 | 卒業生の講話 | 特別講師 齊藤恵一 |
| 11 | 広く開かれた進路6 | 卒業生の講話 | 特別講師 齊藤恵一 |
| 12 | 自己分析と適職2 (1) | R-CAP結果解説 (前半) | 田村洋子 齊藤恵一 |
| 13 | 自己分析と適職2 (2) | R-CAP結果解説 (後半) | 田村洋子 齊藤恵一 |
| 14 | キャリアデザイン | 特別キャリアデザイン講座 | 齊藤恵一 学生支援課 |
| 15 | SPI能力検査 | 言語・非言語テストの模擬受検 | リクルート |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|-----|-------------|------|
| | | | 齊籐恵一 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

各回の小課題への取り組みに基づいて評価する。R-CAPの結果は本授業の重要なフィードバックとなるので、結果レポート返却後もいつでも参照できるようにしておくこと。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜、資料を配付する。

【備考】

各回の内容は関係者と調整を経て決定されるので、本シラバスの順序とは異なる場合がある。

【学修の準備】

事前準備として、講話に来られる方の業種や会社の情報を調べておくこと（30分程度）。また、可能であれば事後学習として、講話の内容のうち、自分の希望する進路に関連することがらがないかを考えること（20分程度）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題を評価し援助するために修得した基礎的技能を社会に出て活かすための基本的な知識を教授する。